

氏名	劔 持 雅 一		
学位(専攻分野の名称)	博士(医学)		
学位授与番号	博 乙 第 2355 号		
学位授与の日付	平成 3年 12月 31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)		
学位論文題目	膵癌の神経浸潤と神経特異抗原および神経接着分子(NCAM)との関連		
論文審査委員	教授 寺本 滋	教授 赤木忠厚	教授 徳永 勲

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

癌細胞の神経周囲浸潤は膵癌の予後規定因子として重要である。今回、膵癌の神経親和性の有無を検討する目的で抗神経特異蛋白抗体および抗神経接着分子(NCAM)抗体を用いて免疫組織学的検討を行った。

〔対象〕 教室における過去5年間の膵癌切除例42例中19例を対象とした。膵内神経浸潤は ne_0 : 3例, ne_1 : 5例, ne_2 : 4例, ne_3 : 7例, であった。S-100蛋白, synaptophysin, substance-P, enkephalin, NSE, NCAM, chromogranin の7種の抗体を用い免疫染色を行い, 陽性を1点としスコア化した。

〔成績〕 膵癌進行度と ne の間に相関は認められなかった。抗NSE, chromogranin抗体以外では癌細胞は様々な程度に染色された。各症例の染色スコアと神経浸潤度との間に相関を認めた。以上, 神経浸潤の強い膵癌細胞では, 多数の神経特異抗原を発現し, 神経接着分子で神経を認識し特異的に神経浸潤を起こす可能性が示唆された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は膵癌に関する臨床的研究であるが, 膵癌の神経親和性の有無を検討した結果, 神経浸潤の強い膵癌細胞では, 多数の神経特異抗原を発現し, 神経接着分子(NCAM)で神経を認識し特異的に神経浸潤を起こす可能性を得たもので価値ある業績であると認める。

よって, 本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。